

# 福知山公立大学初級地域公共政策士【2024年度以降入学生用】 地域経営人材育成基礎プログラム 募集要項

本学では、地域経営分野でのキャリアアップや再チャレンジを目指す大学生や社会人に対して、地域経営学部の科目を体系的に編成したプログラムを開講しています。「初級地域公共政策士」資格制度と連動させることで、地域を担う市民、そして高度の専門的職業人を養成します（2019年度は本学から3名、2020年度は25名、2021年度は6名、2022年度は5名、2023年度は5名が資格を取得しました）。

## 初級地域公共政策士とは？

2011年度からスタートした京都発の地域資格です。地域公共政策の担い手に求められる能力を育成するプログラムを履修し、12ポイントを取得すれば、認定機関である（一財）地域公共人材開発機構から職能資格として「初級地域公共政策士」が付与されます。本資格制度は、現在公共政策系の大学等（※）で活用されています。

### →→→→ 資格の特徴 ←←←←

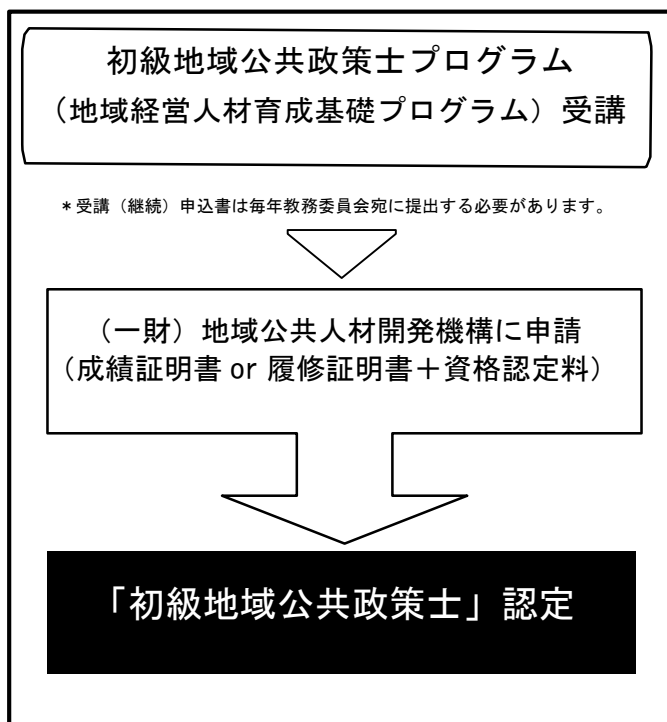
1. どのようなプログラムで、どのような能力を得たのかははっきり「見える」。
2. 学問的資格でもあり、職能的資格でもある。
3. 外部の評価機関にプログラムの質保証（社会的認証）を受けている（2016年4月1日～2030年3月31日）。
4. EUの教育・職能資格で用いられるEQF（※）レベルを参照している。

※European Qualifications Framework の略

詳細は、（一財）地域公共人材開発機構のHP <http://www.colpu.org> をご覧ください。

※ 京都大学（終了）、京都光華女子大学、京都産業大学、京都橘大学、京都府立大学、京都文教大学、同志社大学、福知山公立大学、佛光大学、龍谷大学、琉球大学、京都府農業大学校

## 初級地域公共政策士 資格取得までの流れ



## 《資格取得者の声》

この資格を取るにあたり学習した科目の中で、特にコミュニケーション演習が印象に残っています。現在の地方地域がどのような状況にあり、なぜ地域公共人材が必要なのかを学ぶことが出来ました。また、地域キャリア実習で北近畿地域の企業で5日間お世話になり、PBLを行うなどアウトプットする場が設けられていることで、より実践的な学びを得ることができました。卒業後は、地域金融機関で働いていますが、各セクターを越えた協働できる地域を目指し、地域の課題解決に取り組んでいます。

西田 光輝（2021年度卒業生）

プログラムに該当する科目は、4年間学んできた中でも、興味深く印象的な講義が多かったです。特に中小企業や公共政策など地域を代表するセクターでは「地域×○○」を体系的に学ぶことができました。また必要プログラムは、学部卒業に必要な科目と共通しているものが多く、自身の単位編成の観点から取得しやすいと思います。資格取得を念頭に受講することで、普段の講義により一層の意味やモチベーションを持ち、取り組める点も魅力だと思います。地域経営学という、自身の学びの足跡を残すという意味でも、プログラムを受講してみたいかでしょうか。

本田 湧大（2022年度卒業生）

※ 資格希望者は、各プログラムを履修した上で「初級地域公共政策士」資格の認定にあたり、資格認定料を（一財）地域公共人材開発機構（COLPU）へ3,300円（税込）支払う必要があります（本学の学生には、合格者に対する補助があります）。

## 初級地域公共政策士 「地域経営人材育成基礎プログラム」 (学部レベル/EQF6)

- ① 目的 : 北近畿地域の現状を踏まえたうえで、地域社会の多様な資源に新たな価値や位置づけを見出し、その資源を活用して、地域のさまざまなセクターと連携と協働によって地域社会の活力を創出するための基礎的な能力を育成する。
- ② 育成する人物像 : 北近畿地域において地域社会に関する様々な理論・政策・地域活動を適切に組み合わせて活用することができるグローバル人材
- ③ アウトカム (プログラム修了時に獲得することが期待される能力): 以下のとおり

達成目標	地域社会に関する様々な理論・政策・地域活動を適切に組み合わせて活用することができる (6-0-1)
知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となる課題群の相互関係を把握し分析することができる (6-1-3)</li> <li>・地域社会における様々な活動と、活動をに成る主体との関係の実践的把握 (6-1-4)</li> </ul>
技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における複雑な課題群について、その解決に必要な要素の特定と解決のためのプログラムの提示及び適用ができる (6-2-1)</li> </ul>
行能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解決のために必要な社会的資源を調達することができる (6-3-3)</li> </ul>

### ④ 2025 年度 開講科目一覧及び資格取得要件

下記の中から 12 ポイントを取得するとともに「コミュニケーション演習」に参加すること。  
 ※全て「良」以上成績を収めることが条件。

	科目名	配当年次	ポイント数	担当者	履修条件
北近畿系	地域資源論	1 年次	2 ポイント	谷口 知弘	3 科目の中から 2 科目の単位を修得すること
	地域産業論	2 年次	2 ポイント	佐藤 充	
	社会経済農学	2 年次	2 ポイント	中尾 誠二	
分析系	統計学	1 年次	2 ポイント	倉本 到	2 科目の中から 1 科目の単位を修得すること
	社会調査論	2 年次	2 ポイント	佐藤 充	
公共経営系	ソーシャルデザイン	2 年次	2 ポイント	谷口 知弘	3 科目の中から 1 科目の単位を修得すること
	公共政策論	2 年次	2 ポイント	杉岡 秀紀	
	観光まちづくり論	2 年次	2 ポイント	谷口 知弘	
企業経営系	ベンチャー企業論	2 年次	2 ポイント	亀井 省吾	3 科目の中から 1 科目の単位を修得すること
	中小企業論	3 年次	2 ポイント	佐藤 充	
	財務会計論	2 年次	2 ポイント	井上 直樹	
地域研究	地域経営研究Ⅲ	3 年次	2 ポイント	全 教 員	必修
公共マインド	コミュニケーション演習	2 年次	1 ポイント	杉岡 秀紀 大谷 杏	必ず参加すること (2025 年度の開講日は調整中)

《問い合わせ窓口》1 号館 1 階学務課教務係 もしくは [educational@fukuchiyama.ac.jp](mailto:educational@fukuchiyama.ac.jp) まで